

**令和4年度**

**箕面グリーンロード  
料金割引社会実験結果**

**令和5年5月**

**箕面有料道路（箕面グリーンロード）社会実験協議会**

# 1. 社会実験の概要

## (1) 現状と課題

- 箕面有料道路（箕面グリーンロード）は、箕面北部、豊能及び能勢と大阪市街地を結ぶ重要な道路で、同地域の活性化に不可欠なインフラのひとつ。
- 平成19年5月の供用開始以後、本路線のPRを実施し、交通量は増加傾向を示しているものの、事業計画収入額を満たす交通量には至っていない。
- 道路利用者からは、「箕面グリーンロードができたことで大変便利にはなったが、通行料金が高いため、利用しにくい。」という声が多い。
- このため、本路線のさらなる利用促進を図るための具体的な方策が必要として平成21年7月20日から料金割引社会実験を実施。

## (2) 社会実験の目的

- 箕面グリーンロードの収支改善
- 箕面森町のまちづくり促進及び北大阪周辺の各市町等と連携した地域活性化
- 並行する一般国道423号や周辺道路から箕面グリーンロードへの交通転換

## (3) 令和4年度料金割引社会実験の内容

- 実験期間：令和4年4月1日（金）～令和5年3月31日（金）（365日）
- 対象車種：普通車及び軽自動車等（現金及びETC利用者）
- 割引内容：普通車630円→420円（33%割引）、軽自動車等520→360円（30%割引）

## (4) 社会実験の実施体制

- 「箕面有料道路（箕面グリーンロード）社会実験協議会」にて、社会実験を実施。

## 2. 社会実験の結果

### (1) 交通量の変化

社会実験の割引対象車両（普通車、軽自動車等）の日平均交通量は10,734台/日であり、前年度から約14%の増加、実験開始以前から約3倍の増加。

期 間	車 種	平日	休日	全日	
令和4年4月1日 ～令和5年3月31日	普通車	7,683	9,432	8,253	
		対実験開始前週比	3.194	2.522	2.962
		対R3年度比	1.137	1.169	1.149
	軽自動車等	2,489	2,465	2,481	
		対実験開始前週比	3.531	3.041	3.376
		対R3年度比	1.100	1.147	1.115
	普通車+軽自動車等	10,171	11,896	10,734	
		対実験開始前週比	3.270	2.614	3.048
		対R3年度比	1.128	1.164	1.141
	全車種	11,477	12,507	11,813	
		対実験開始前週比	3.240	2.595	3.023
		対R3年度比	1.139	1.167	1.149

※料金割引の対象車種は、普通車及び軽自動車等（ETC及び現金通行車）

※全車種は、普通車、軽自動車等、中型車、大型車および特大車等

※「対実験開始前週比」とは、平成21年7月13日～同月19日の日平均交通量との比較

※「対R3年度比」とは、令和3年4月1日～令和4年3月31日の日平均交通量との比較

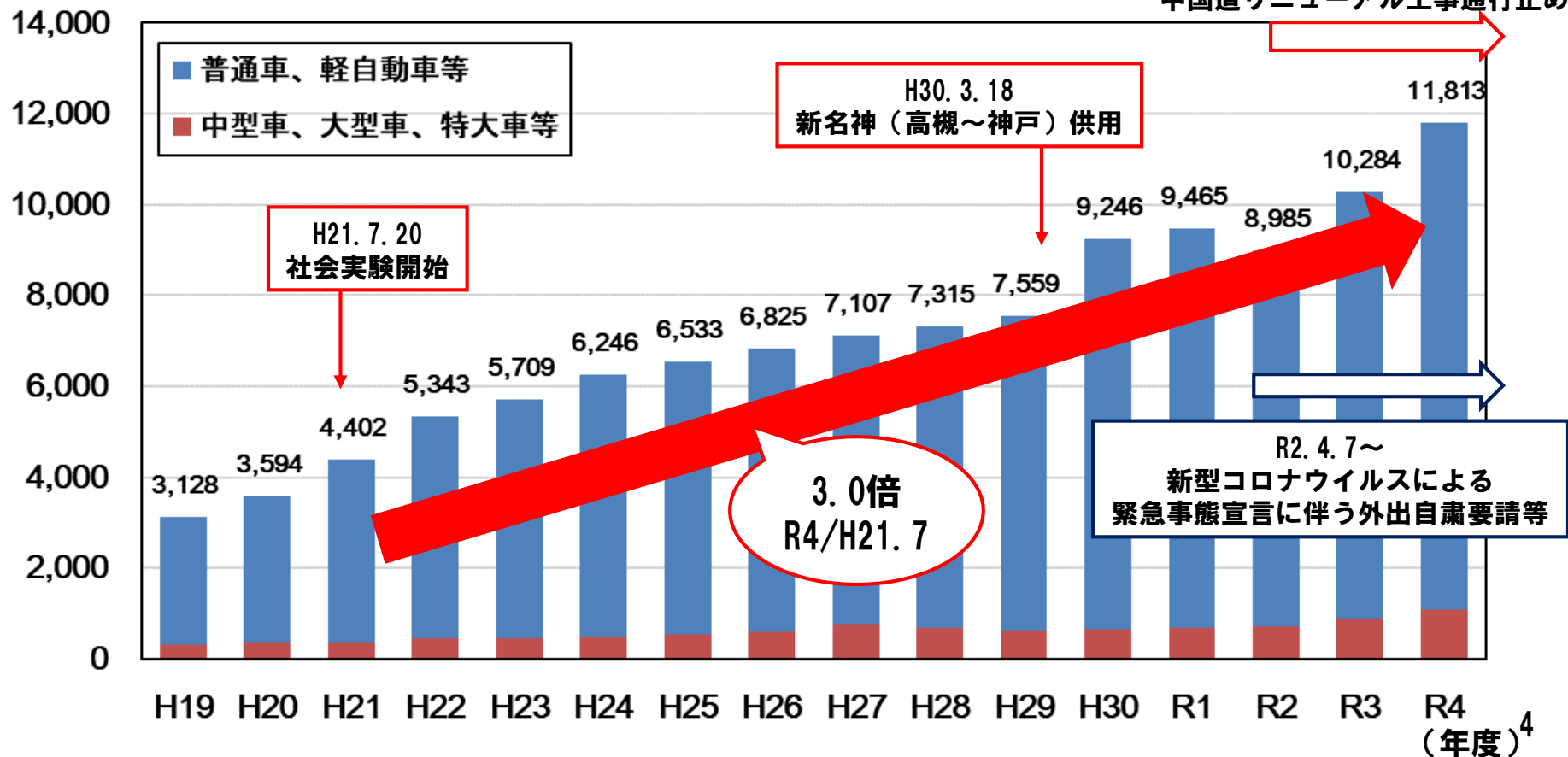
# 2. 社会実験の結果

## (2) 年度別交通量の推移

令和4年度の日平均交通量（全車種）は11,813台/日であり、コロナ禍の影響を除けば、社会実験開始以降、増加傾向

### ■年度別交通量の推移

(日平均交通量：台/日)



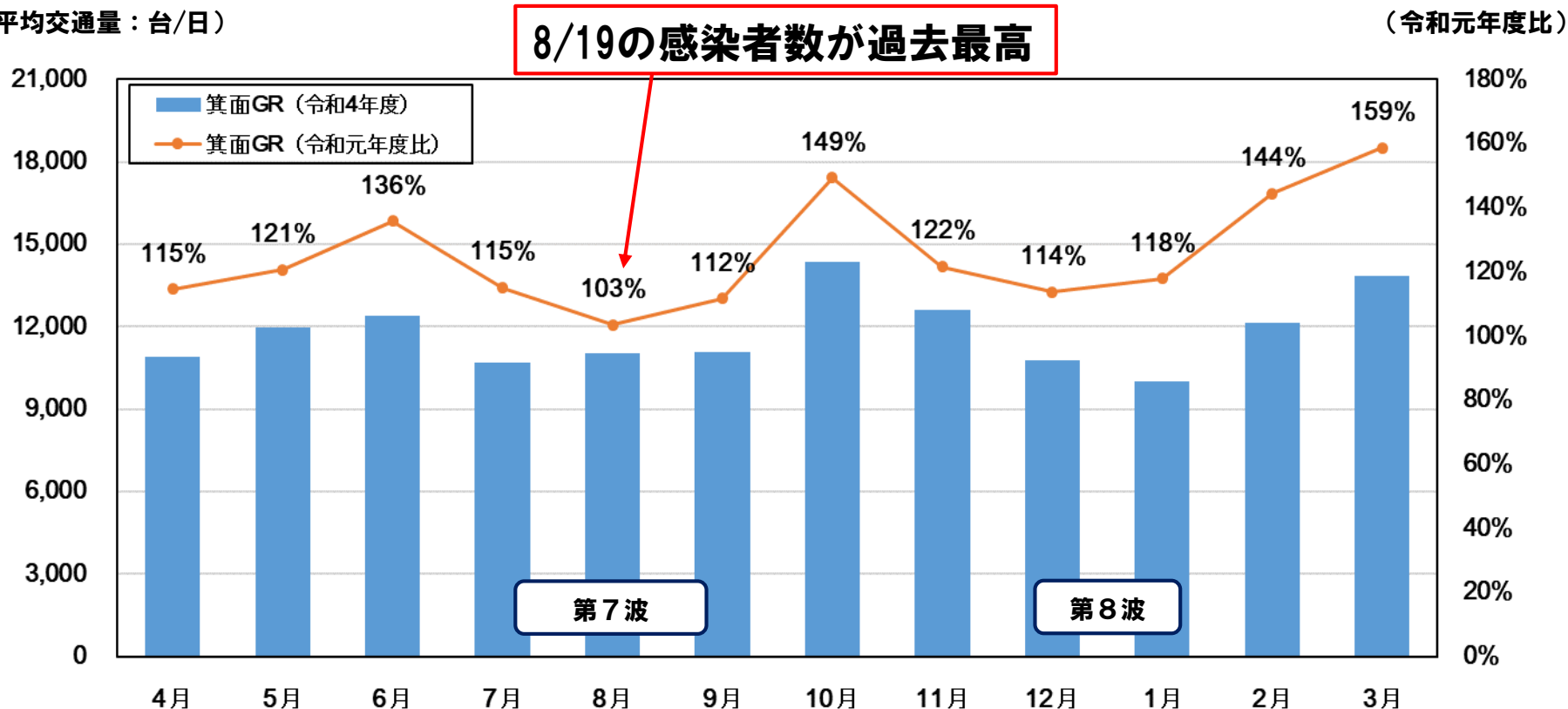
## 2. 社会実験の結果

### (3) 新型コロナウイルス感染症による影響

新型コロナウイルスによる外出自粛要請は、まん延防止等重点措置が解除された3月以降出されていないものの、夏ごろの「第7波」、冬ごろの「第8波」の影響からか、当該時期の交通量は減少している。

#### ■月別交通量の推移

(日平均交通量：台/日)



#### ■新型コロナウイルス感染症による主な交通量の減少要因

夏頃：1日の感染者数が過去最大となった第7波が訪れた。

冬頃：1日の死者数が過去最大となった第8波が訪れた。

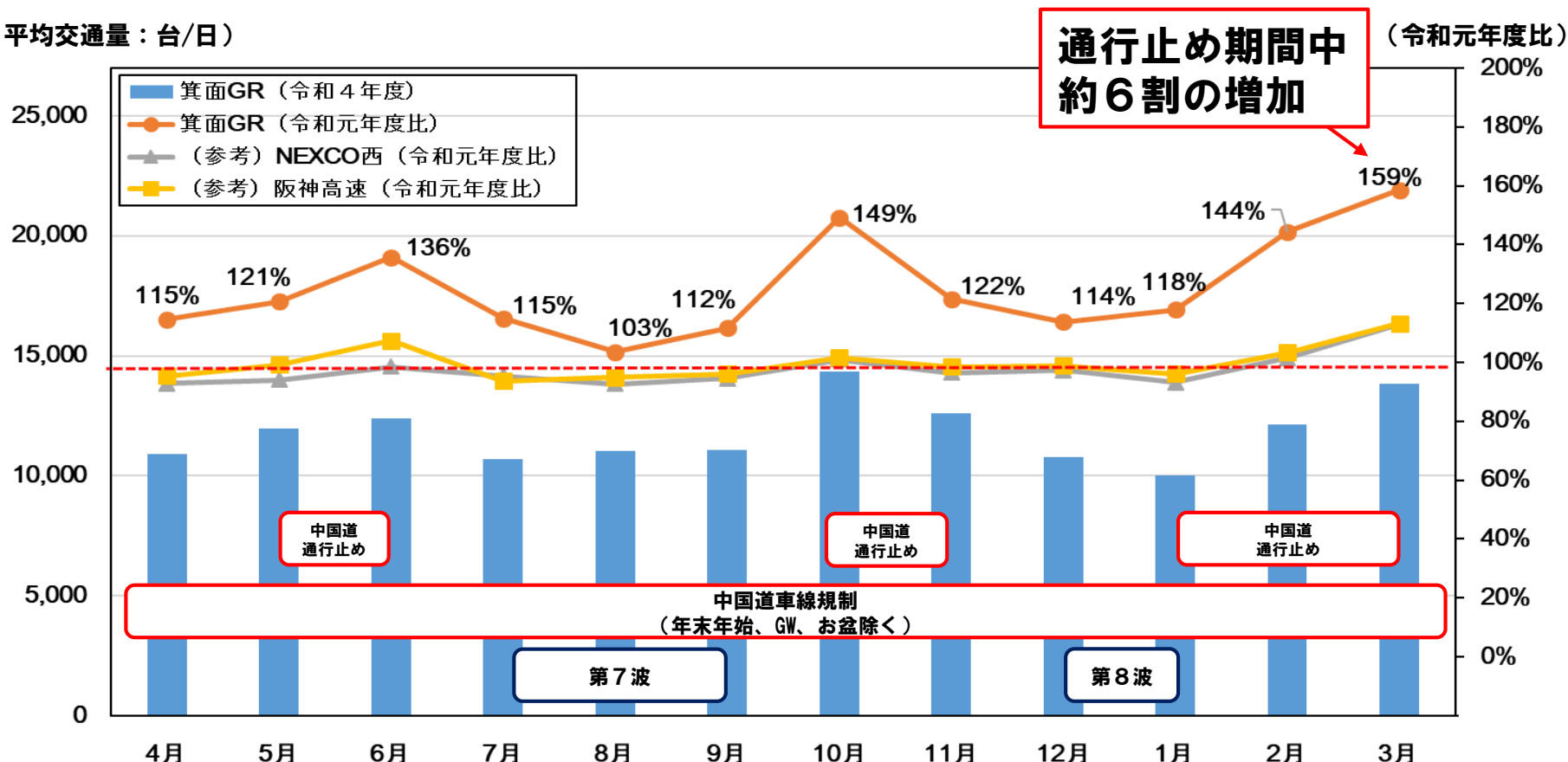
## 2. 社会実験の結果 (4) 中国自動車道リニューアル工事による影響

中国道の通行止め期間では、他の高速道路に比べて箕面有料道路の交通量が大きく増加。迂回路として利用されたことが要因と考えられる。

また、通行止め期間外の交通量についても、コロナ禍前（令和元年度）と比較して約2割増加しており、1年通してコロナ禍前の水準を上回る結果となった。

### ■月別交通量の推移

(日平均交通量：台/日)



### ■中国自動車道リニューアル工事による主な交通量の増加要因

5/17～6/25、10/4～11/12、1/17～3/26：吹田JCT～中国池田IC間の終日通行止め【中国道リニューアル工事】

R3. 8～R6上半期（年末年始、GW、お盆を除く）：中国池田IC～宝塚IC間の終日車線規制

## 2. 社会実験の結果

### (5) 車種別交通量の推移

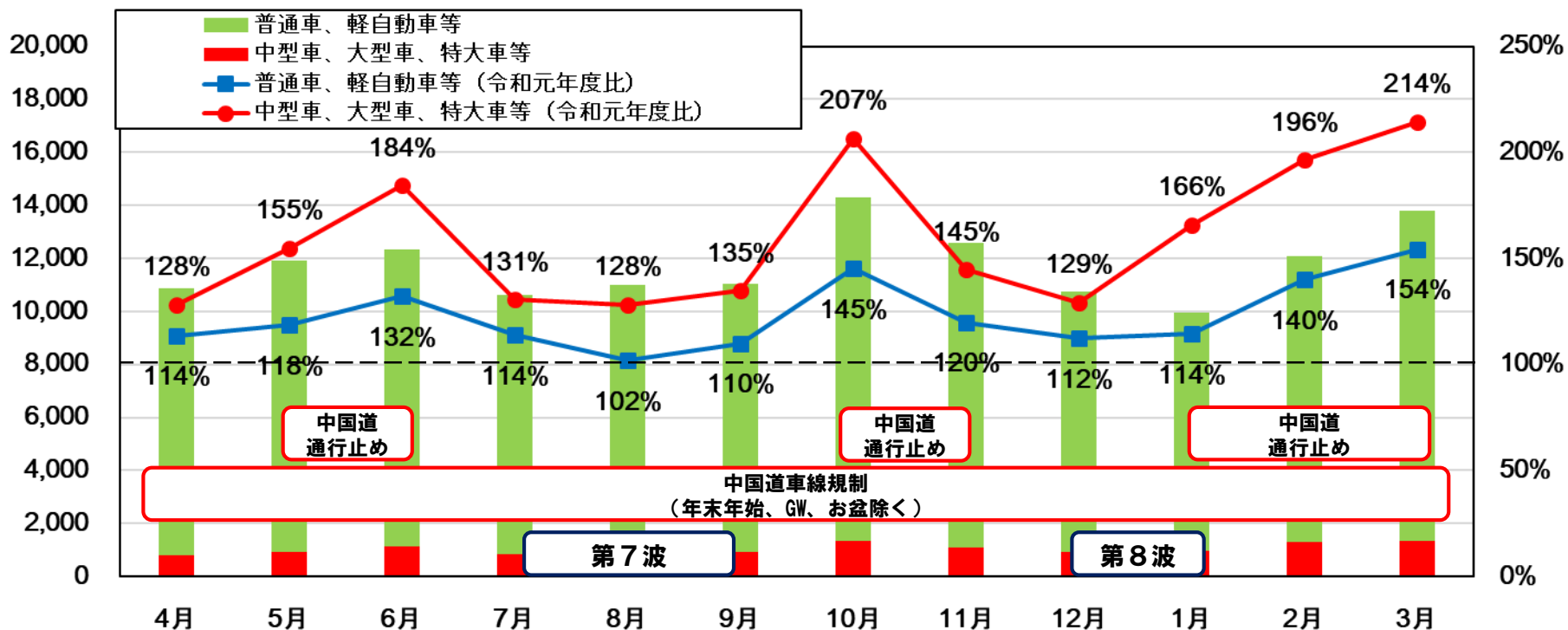
車種別で比較すると、新型コロナウイルスの影響による減少は、普通車等が大きく、観光利用の低迷が要因と考えられる。

また、中国道リニューアル工事の影響による増加は、大型車等が大きく、業務利用による迂回利用が要因と考えられる。

#### ■月別交通量の推移（車種別）

（日平均交通量：台/日）

（令和元年度比）



# 2. 社会実験の結果

## (6) 平日・休日交通量の推移

平日、休日で比較すると、新型コロナウイルスの影響による減少は、休日が大きく、観光利用の低迷が要因と考えられる。

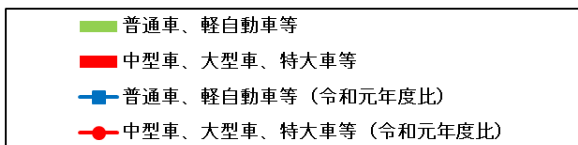
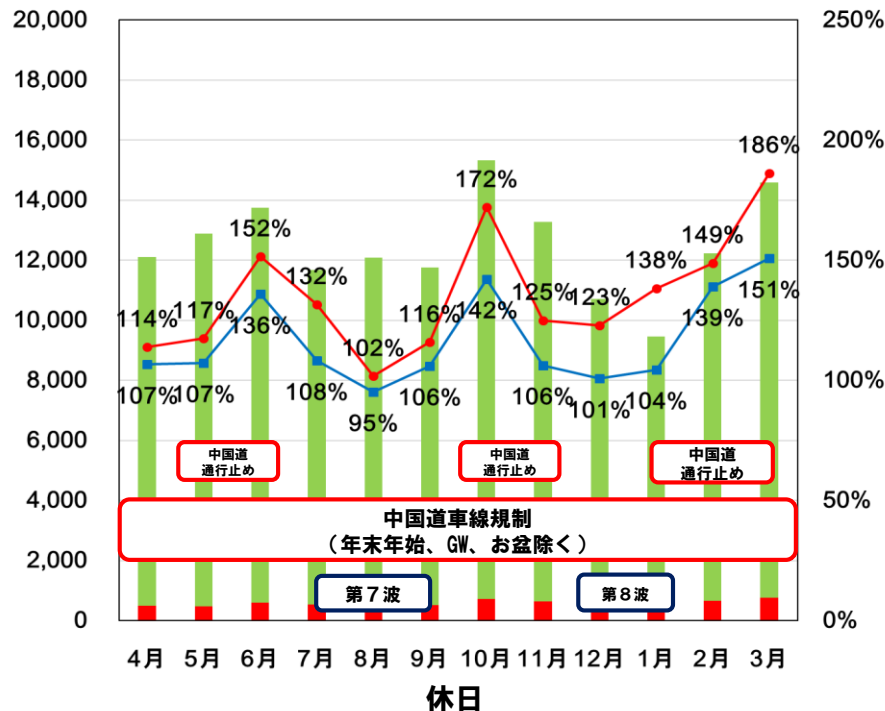
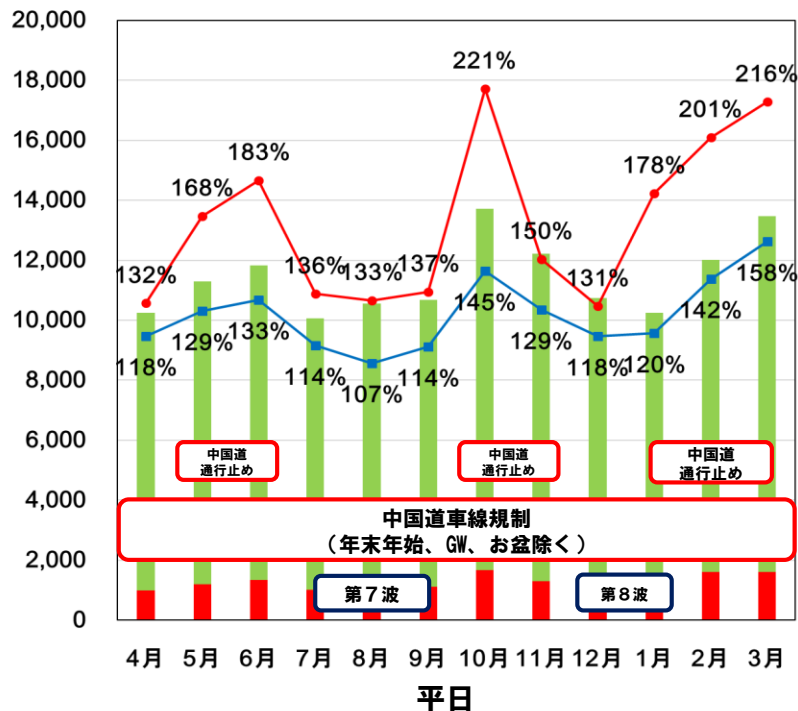
中国道リニューアル工事の影響による増加は、平日が大きく、業務利用における迂回利用の増加が要因と考えられる。

### ■月別交通量の推移（平日・休日）

（日平均交通量：台/日）

（令和元年度比）（日平均交通量：台/日）

（令和元年度比）



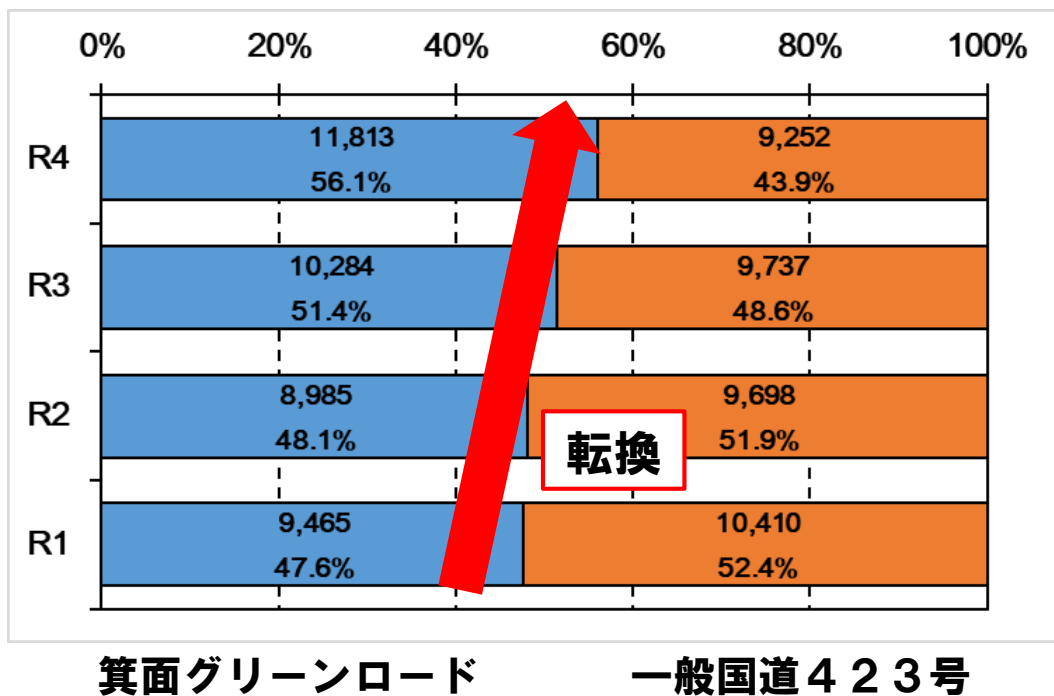


# 3. 社会実験の効果

## (1) 周辺道路からの交通転換

箕面グリーンロードと、その並行する国道423号については、それぞれ新型コロナウイルスの影響で令和2年度に減少し、その後回復傾向にある中で、箕面グリーンロードの交通量の割合が増加傾向にあるため、周辺道路から箕面グリーンロードへの交通転換が促進されていると考えられる。

■箕面グリーンロードと並行する423号の交通量割合の推移



【出展】一般国道423号の交通量：旧細川小学校南交差点付近 車両感知器

# 3. 社会実験の効果

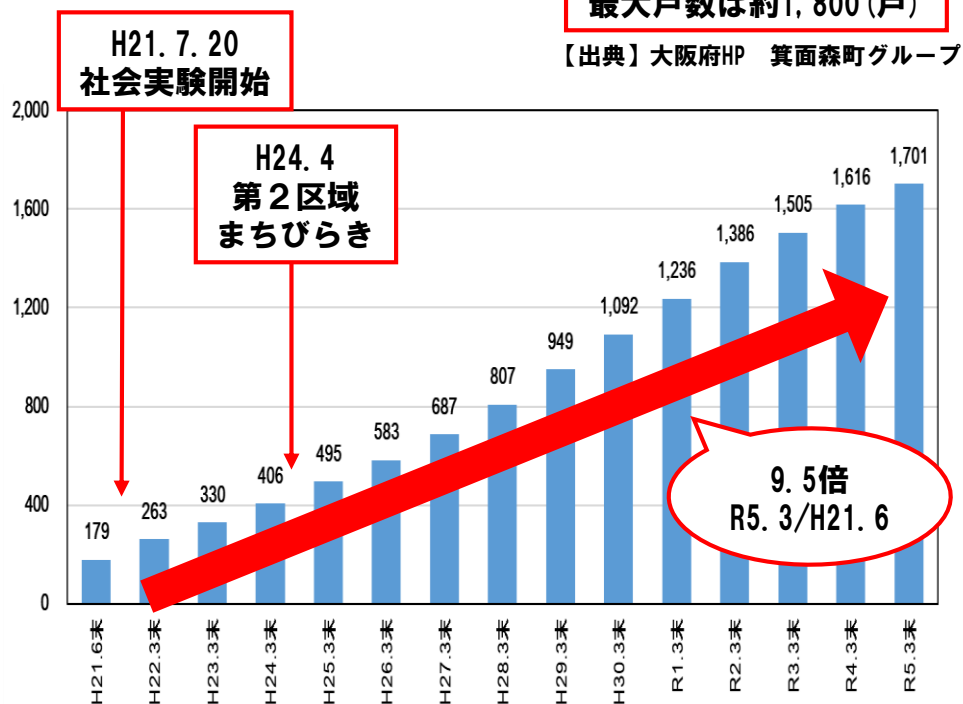
## (2) 地域活性化等の効果

箕面森町においては、世帯数が増加するとともに施設整備等が促進されるなど地域の活性化が図られている。

箕面森町の世帯数は令和4年度において85世帯増加しており、社会実験開始以降、継続的に増加している。

### ■ 箕面森町の世帯数の推移

(世帯数)



【出典】箕面森町の世帯数：箕面市町丁目別世帯人口数  
(森町北1丁目～2丁目、森町中1丁目～3丁目、森町南1丁目～3丁目)

### ■ 箕面森町第3区域の主な開発状況

- R1.10 【物流】サカタウエアハウス(株) 北大阪営業所・箕面倉庫 竣工
- R3.4 【工場】アソー(株)箕面クリーン工場 竣工
- R3.7 【物流】ロジプラザ箕面森町 竣工
- R3.8 【工場】大成化工(株)箕面工場 竣工
- R3.10 【物流】京神倉庫(株)箕面支店倉庫 竣工
- R4.1 【物流】サカタウエアハウス(株) 北大阪営業所・箕面倉庫(第二期) 竣工
- R4.3 【物流】箕面ロジスティクスセンター 竣工
- R4.4 【工場】チコーエアーテック(株)箕面森町工場 竣工
- R5.1 【物流】アイミッションズパーク箕面 竣工
- R6.1 【物流】ヒューテクノオリン(株) 箕面森町冷蔵倉庫 竣工(予定)

# 4. アンケート調査結果

## (1) アンケート実施概要

令和4年11月～12月に箕面グリーンロード利用者及び沿線住民を対象にアンケート調査を実施した。

### ■道路利用者アンケート

- 調査対象：箕面グリーンロード利用者
- 調査方法：① 料金所にて調査票を配布、Webで回答  
② 大阪府HPにてWebアンケートを実施

### ○回収状況

	R4	R3(参考)	R2(参考)
①配布数	1,500	1,200	1,326
①回収数	39(2.6%)	164(13.7%)	187(14.1%)
②HPからのWeb回答数	63	35	-
合計回答数	102	199	187

### ■沿線住民アンケート

- 調査対象：箕面市、池田市、豊能町、能勢町の住民
- 調査方法：自治会等を通じ住民に配布し、Webで回答（止々呂美、能勢町は郵送回答も受付）

### ○回収状況

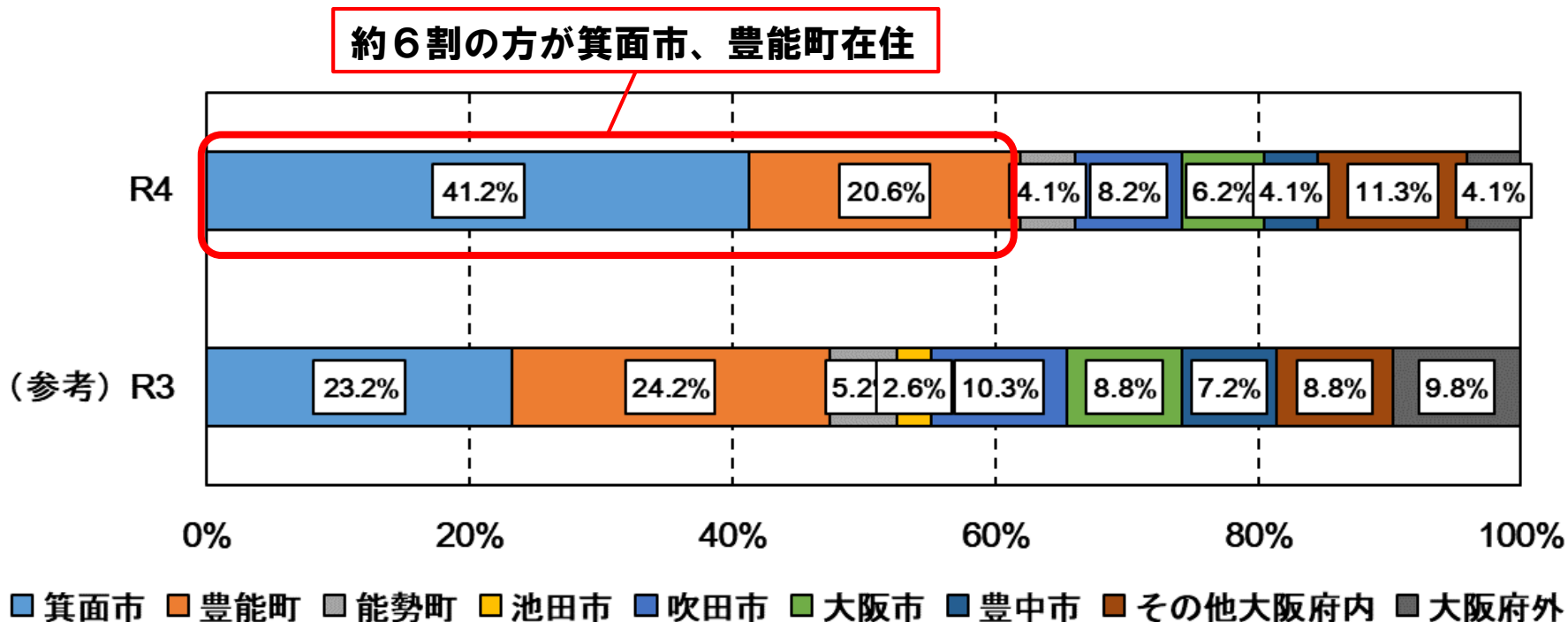
	R4	R3(参考)	R2(参考)
配布数	2,580	2,265	1,975
回収数	1,024(39.7%)	1,249(55.1%)	1,029(52.1%)

# 4. アンケート調査結果

## (2) 居住地

アンケートを回答していただいた道路利用者のうち、約6割の方が箕面市、豊能町在住、約2割の方が吹田市、大阪市、豊中市在住で、地域の方の利用が中心。府外では、川西市、猪名川町、亀岡市の方が見受けられた。

■居住地：道路利用者（有効回答数 97）

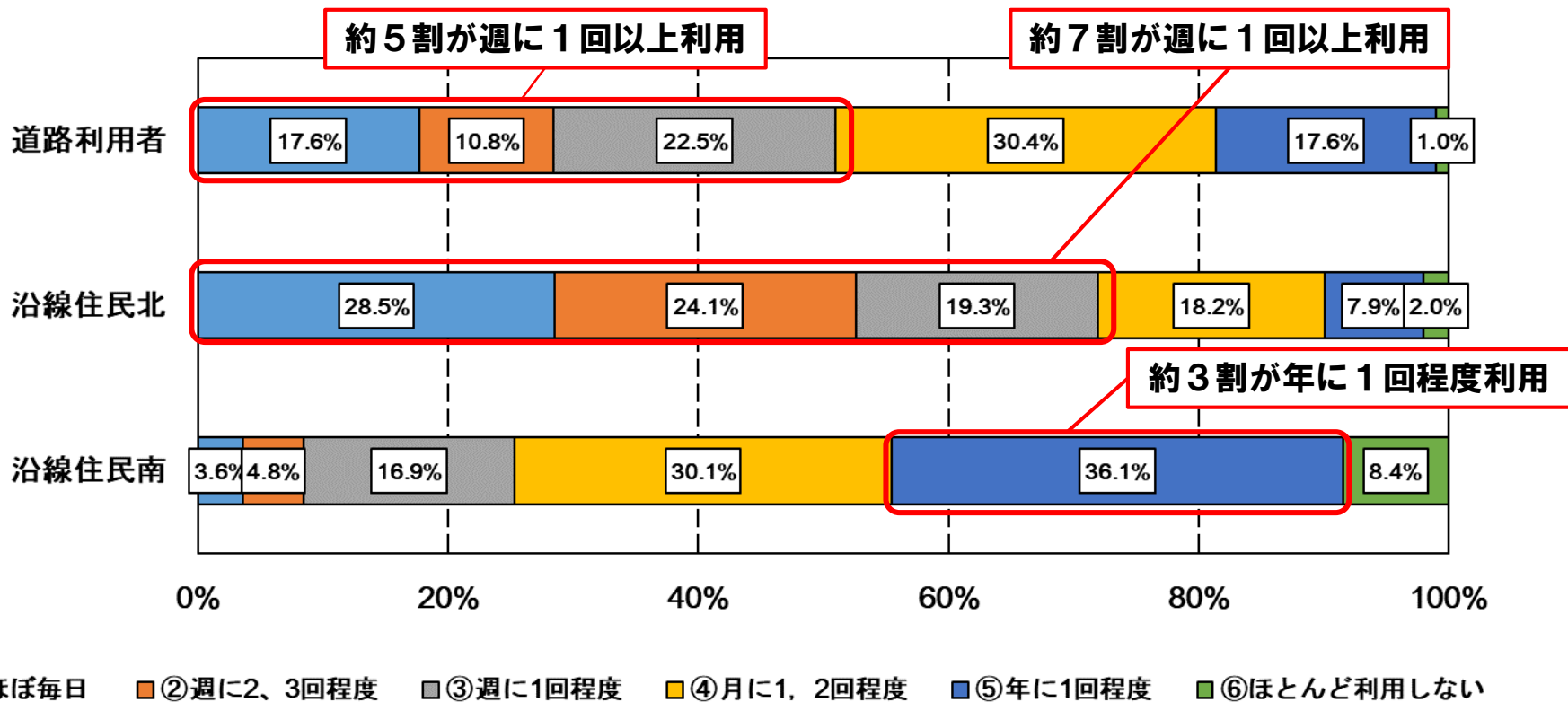


# 4. アンケート調査結果

## (3) 利用頻度

アンケートを回答していただいた道路利用者の約5割、北側の沿線住民の約7割が「週に1回以上」と回答していることから、定期的な利用が見受けられる。

■利用頻度：道路利用者 (有効回答数 102)  
沿線住民北 (箕面森町、止々呂美、池田市、豊能町、能勢町) (有効回答数 941)  
沿線住民南 (箕面市南部) (有効回答数 83)

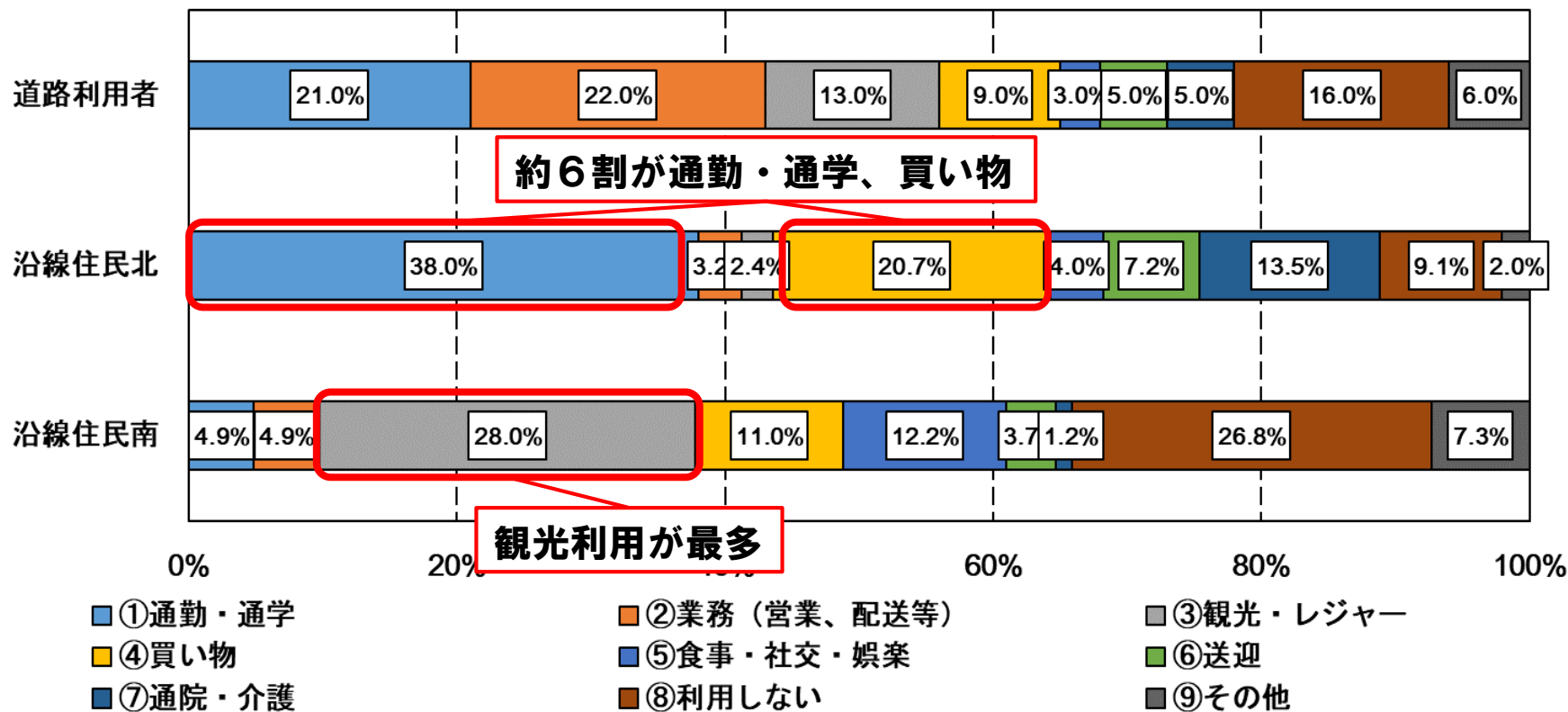


# 4. アンケート調査結果

(4) 利用目的 (平日)

北側の沿線住民は「通勤・通学」、「買い物」で約6割を占め、「生活道路としての利用」が見受けられる。南側の沿線住民は「観光利用」が最も多い。

■ 平日の利用目的：道路利用者（有効回答数 100）  
 沿線住民北（有効回答数 934）、沿線住民南（有効回答数 82）

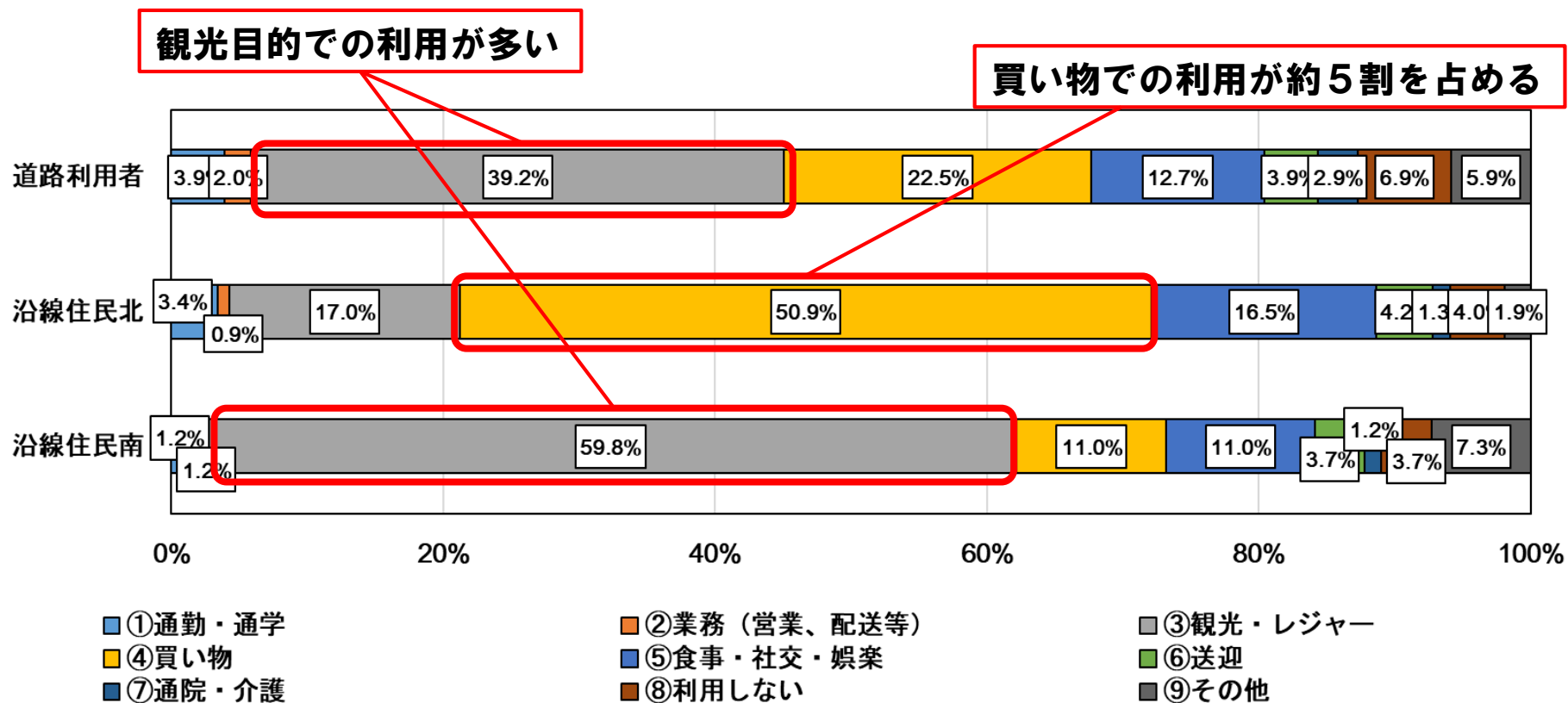


# 4. アンケート調査結果

## (4) 利用目的 (休日)

北側の沿線住民は「買い物」が半数を占め、「生活道路としての利用」が見受けられる。アンケートを回答していただいた道路利用者や南側の沿線住民は「観光利用」が最も多い。

■ 休日の利用目的：道路利用者（有効回答数 102）  
 沿線住民北（有効回答数 932）、沿線住民南（有効回答数 82）



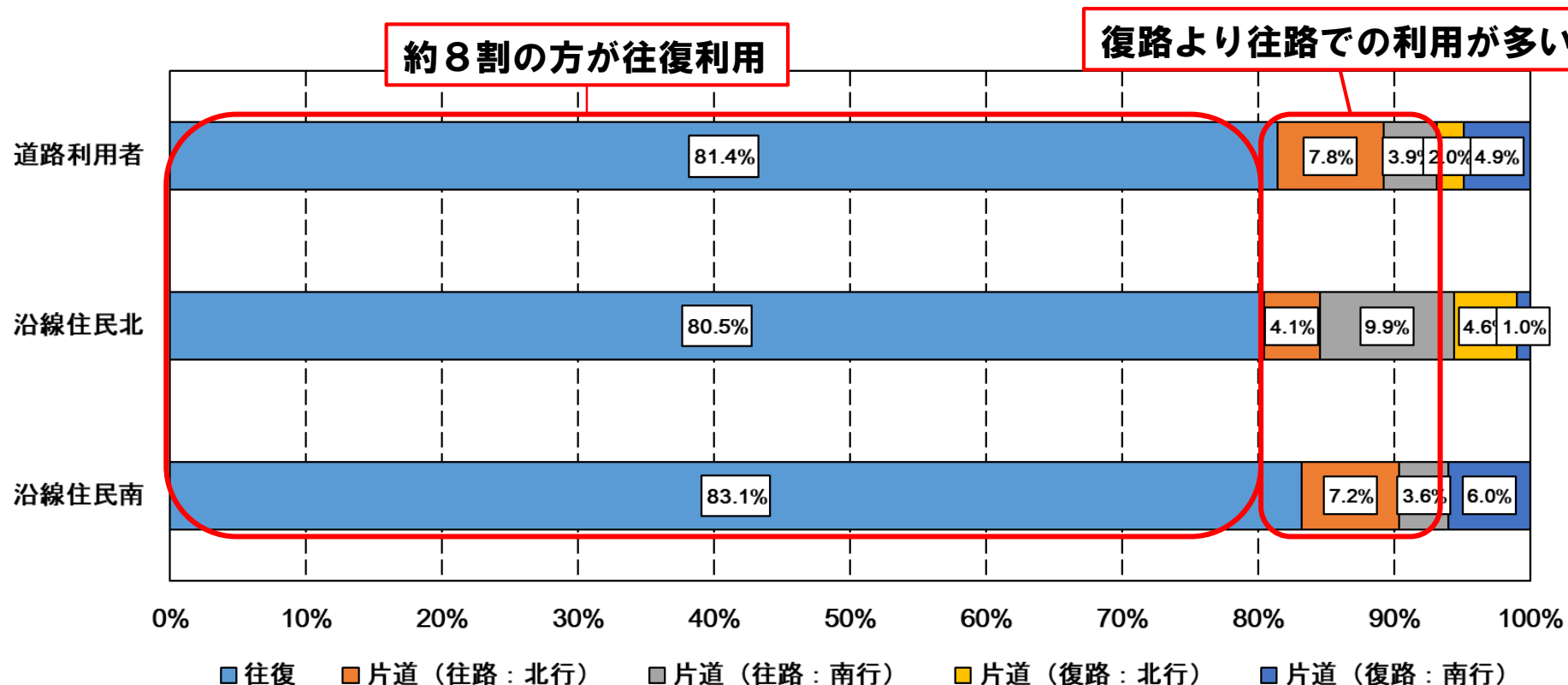
# 4. アンケート調査結果

## (5) 往復の利用

箕面グリーンロードの北側と南側、どちらの沿線住民も、約8割の方が往復で利用している。また、片道利用の中でも往路で利用している方が多い。

■往復の利用：道路利用者（有効回答数 102）

沿線住民北（有効回答数 931）、沿線住民南（有効回答数 83）





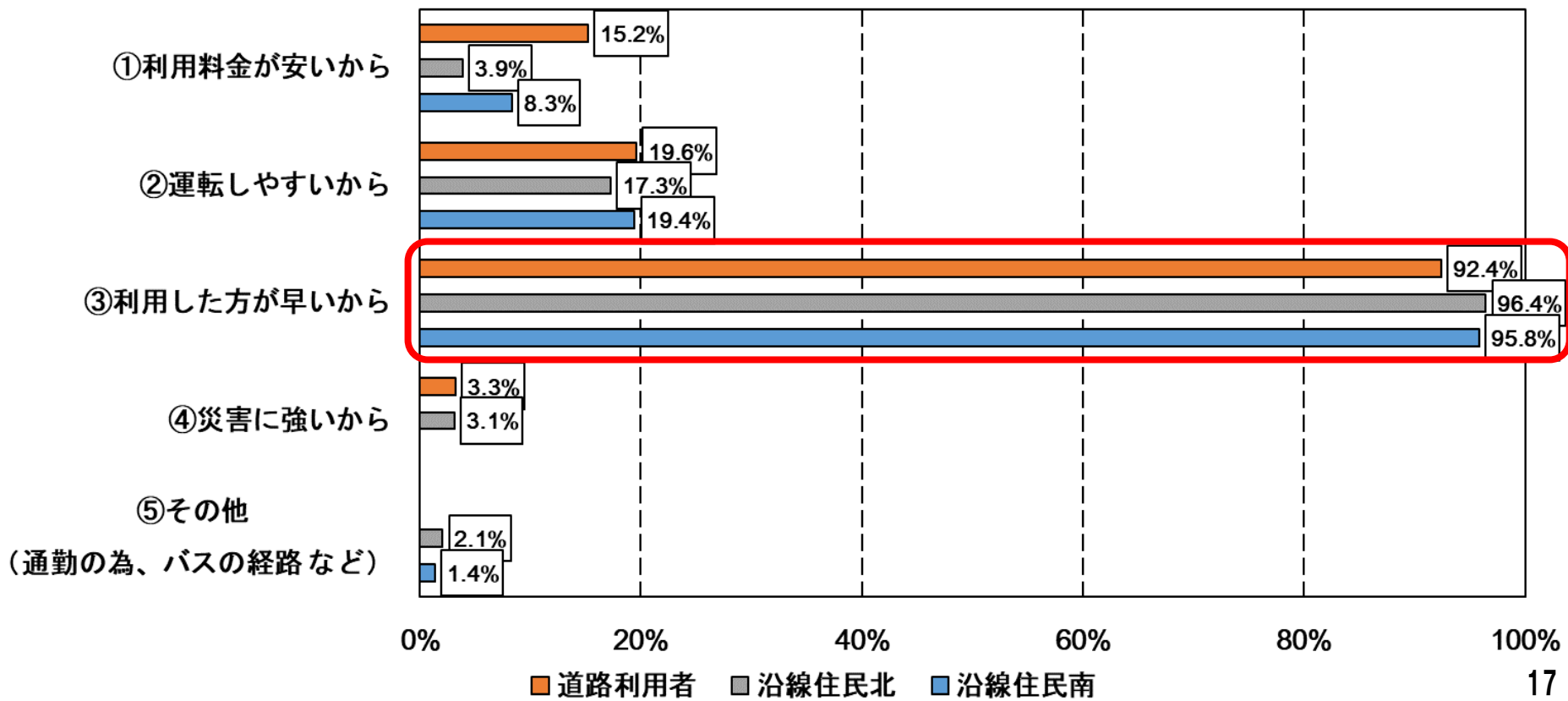
# 4. アンケート調査結果

## (6) 利用する理由

普段から利用されている理由として、アンケートを回答していただいた道路利用者、沿線住民ともに9割以上の方が「利用した方が早いから」と回答。

ほとんどの利用者の方が、早く移動できることに利便性を感じている。

■ 普段利用する理由：道路利用者（有効回答数 92）  
沿線住民北（有効回答数 869）、沿線住民南（有効回答数 72）



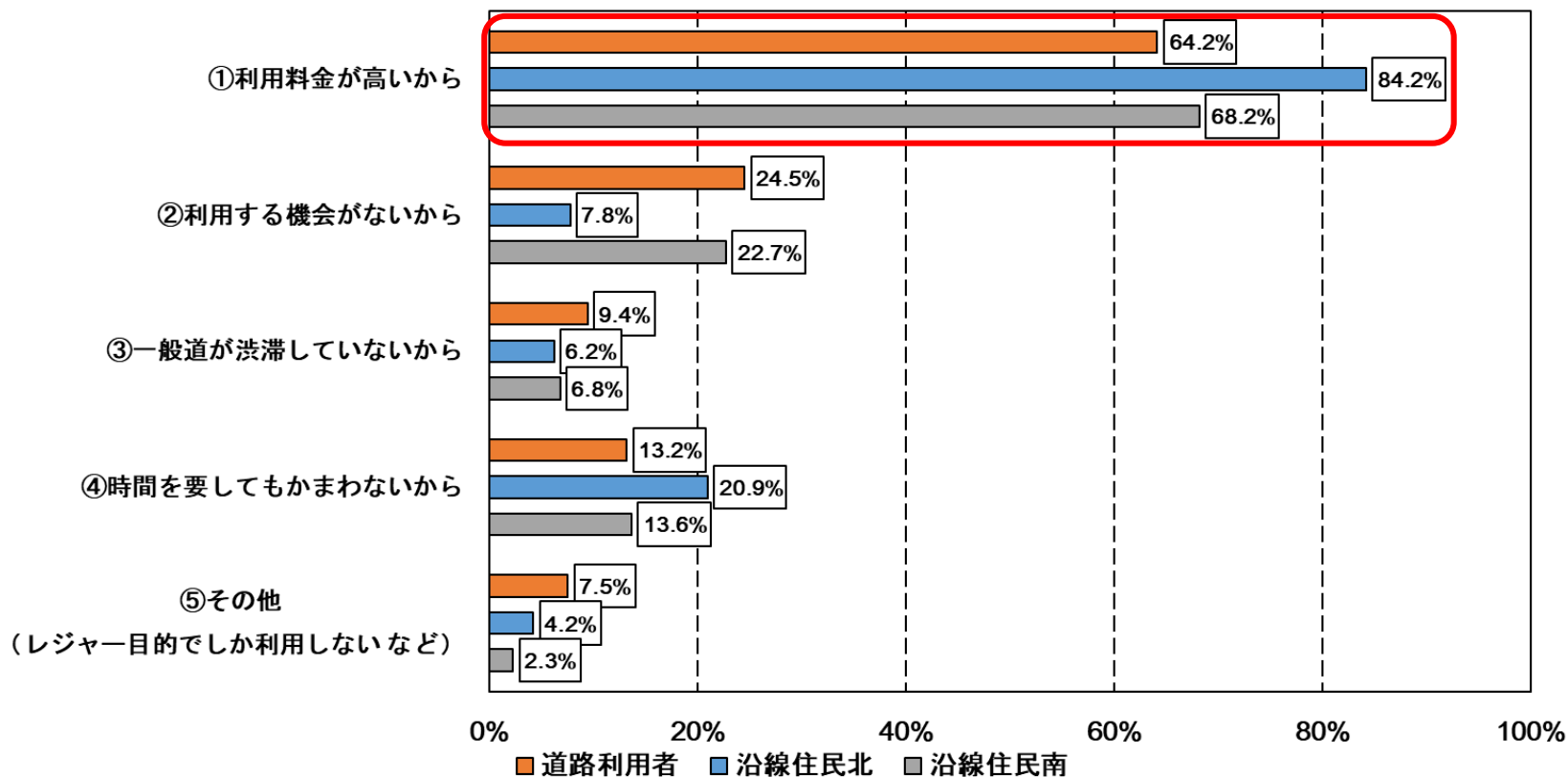
# 4. アンケート調査結果

## (7) 利用しない理由

普段から利用しないまたは片道利用の方のうち、約6～8割の方が「料金が高いから」と回答。

料金の高さを理由に利用を控えている状況が見受けられる。

■普段利用しないまたは片道利用の理由：道路利用者（有効回答数 53）  
沿線住民北（有効回答数 449）  
沿線住民南（有効回答数 44）

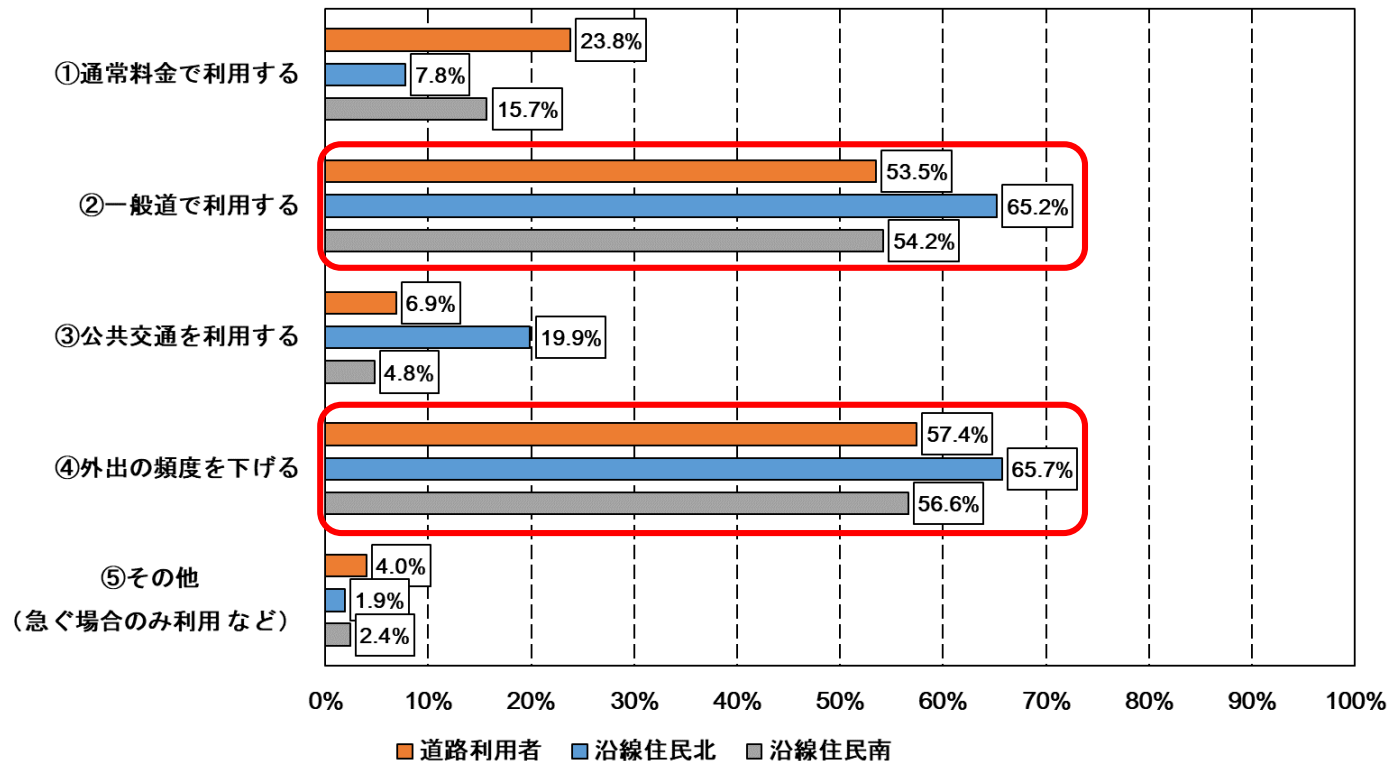


# 4. アンケート調査結果

## (8) 料金割引社会実験について

社会実験を終了し、通常料金となった場合において、半数を超える方が「一般道を利用」、「外出の頻度を下げる」といった、箕面グリーンロードの利用頻度を下げるような回答をしており、料金割引の効果は大きいと思われる。

■料金割引社会実験が終了した場合：道路利用者（有効回答数 101）  
沿線住民北（有効回答数 939）  
沿線住民南（有効回答数 83）



- 北側の沿線住民は、比較的利用頻度が高く、約7割の方が週に1回以上利用しており、主に通勤や買い物といった生活道路として利用されている。
- 南側の沿線住民は、約3割の方が年に1回程度のみでの利用で、主に観光やレジャー目的で利用されている。
- 普段から利用する理由として9割以上の方が「移動が早い」と回答。
- 普段から利用していないまたは片道のみ利用されている方の約6～8割の方が「利用料金が高い」ことを理由に利用を控えている状況。
- また、社会実験を終了した場合、半数を超える方が「一般道を利用」、「外出の頻度を下げる」といった、箕面グリーンロードの利用頻度を下げるような回答をしており、料金割引の効果は大きいと思われる。

# 5. 箕面グリーンロードの利用促進

利便性のPRや利用促進の取り組みとして、各サービスエリアや市役所等にPRチラシの配架や、SNSで観光需要の喚起やイベントを実施した。

- ドライブマップの配架（R4. 4～R5. 3）
  - ・沿線の観光施設の紹介と協賛施設で使えるクーポン券付きのドライブマップを配架
  - ・配架箇所：各協賛施設、近畿圏の道の駅、サービスエリア、観光協会、市役所等
- PRチラシの配架（R4. 7）
  - ・神戸方面へのアクセスの利便性PRチラシを配架
  - 配架箇所：新御堂筋沿線の駅、市役所、区役所等
- 折り込みチラシの配布（R4. 8）
  - ・北摂地域のフリーペーパーへの折り込みチラシ13万部を配布
- カードラリーキャンペーン（R4. 7～R5. 3）
  - ・近畿圏内5道路公社と連携したカードラリーを実施
- Instagram 広報（R4. 11～R5. 3）
  - ・観光協会と連携して沿線のグルメ情報の発信（冬季の利用促進）
  - ・グルメ情報と併せて上記PRチラシの周知



PRチラシ（神戸への案内）



道路カード（カードラリー）



Instagram 広報

## 6. 令和4年度社会実験の総括

### (1) 交通量

- 普通車、軽自動車等の交通量は前年度から約14%増加しており、コロナ禍の影響を除けば、社会実験開始以降、継続的に増加している。

### (2) 周辺道路からの交通転換

- 箕面グリーンロードの周辺道路との交通分担率は前年度から約5%増加しており、周辺道路から箕面グリーンロードへの交通転換が促進されていると考えられる。

### (3) 地域活性化等の効果

- 箕面森町における世帯数は前年度から85世帯増加しており、施設整備等が促進されるなど地域の活性化が図られている。

### (4) アンケート調査結果

- 料金割引終了に対して半数以上が「一般道を利用する」と回答しており、割引による利用効果は大きい。



料金割引社会実験は、利用促進や地域の活性化等に寄与しているが、料金収入は計画収入まで至っていない状況である。

引き続き、料金割引社会実験を実施し、交通量や利用者の意見、影響などを把握し、その効果を検証するとともに、観光情報発信、利便性PRなどの利用促進に取り組む。